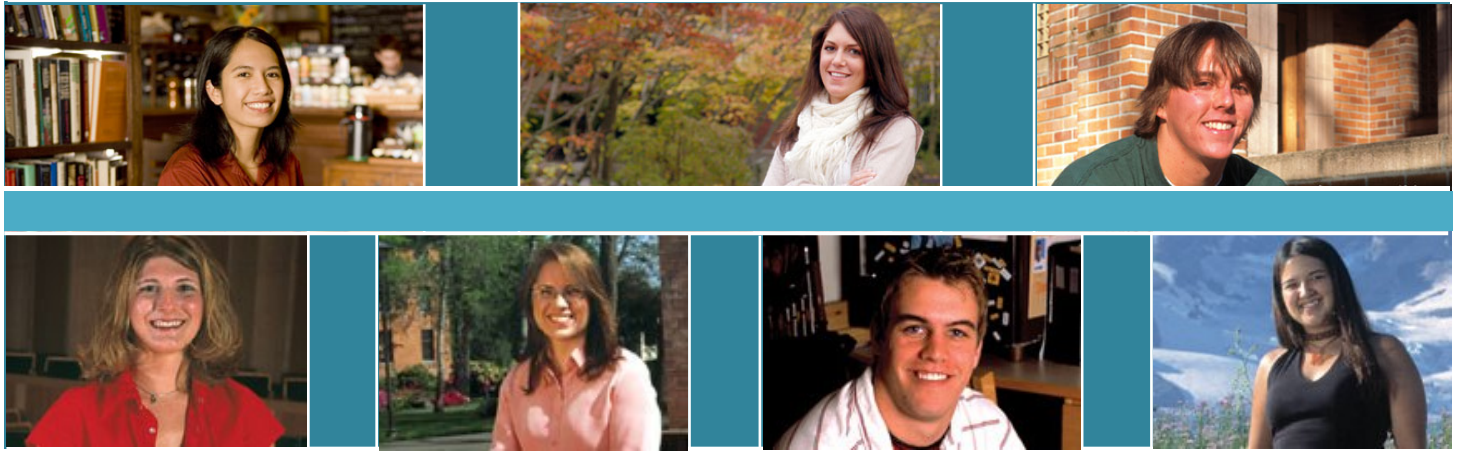




SAF Newsletter Vol. 6

SAF 日本事務局 〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー4F TEL:03-5321-6222 <http://www.studyabroadfoundation.org/japan>



Internship 特集 Vol.2 : ワシントン D.C.で国際的な仕事体験!

The Washington Center TWCって何? 留学の最後をインターンシップで締めくくろう!

世界中の政府機関と企業が集まるワシントン D.C.はインターンシップに最適の場所。SAFではWSPの他に、TWCに参加することができます。The Washington Centerはワシントン DCに拠点を置く非営利教育団体で、1975年の創立以来 35,000人以上の学生にインターンシップを中心とした教育プログラムを提供しています。プログラムは、① Internship、② Academic courses、③ The Leadership Forumの3つで構成されており、参加学生は自分の興味がある分野でインターンシップをしながら、専門家の講義を受けたり、各界のリーダーと直接ディスカッションをする機会が与えられます。

① **Internship**: 週 4 日～4.5 日のインターンシップに参加します。

② **Academic Courses**: 夕方に 1 日/週、興味のある分野のセミナーを受けます。

③ **The Leadership Forum**: 各国の大使、ジャーナリスト、上院議員、などと直接ディスカッションをする機会があります。

【留学期間】 1月4日～3月14日(約3か月)

【参加可能大学】 アメリカン大学、セント・トーマス大学、ユタ大学、アイオワ大学

【参加条件】 TOEFL iBT: 80 / CBT: 213 / PBT: 550 GPA 2.75
*ユタ大学の授業履修プログラムへの参加は TOEFL iBT61 からですが、TWC への参加には上記の TOEFL スコアが必要になります。

【1年留学のモデルプラン】

4月～8月: 英語力強化コース
8月～12月: 授業履修プログラム
1月～3月: TWC インターンシップ

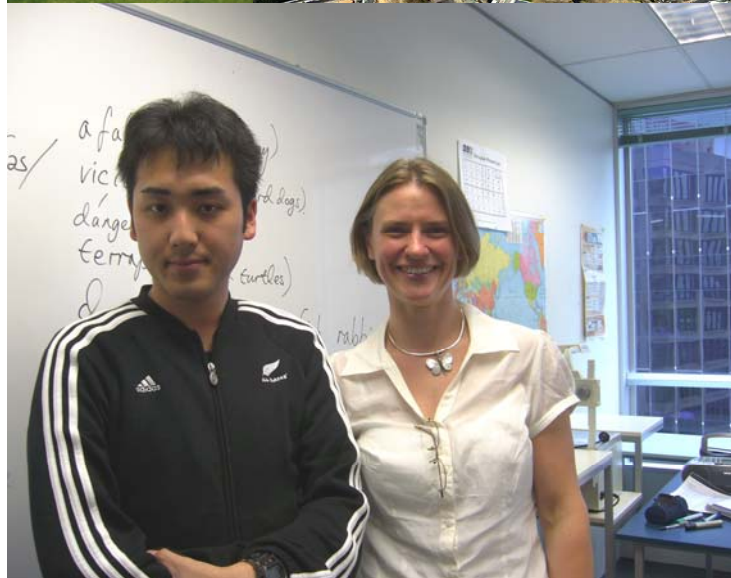
【滞形式】
Northern Virginia, Maryland 郊外, Washington, D.C.のいずれかにある TWC のアパートに入居します。部屋には家具が備え付けられており、インターネットアクセス、電話、ケーブルテレビへのアクセス、24 時間対応のセキュリティがあります。食事は共同のキッチンで自炊となります。

留学の最後をインターンで締めくくって、4月から日本の大学に復学することができます!

専攻分野	プログラム概要	インターンシップ先の例	アカデミックコース
Advocacy, Service and Arts Program	国際的な非政府組織、権利擁護団体でのインターンシップ	Amnesty International Global AIDS Alliance Smithsonian Institute	① International Affairs and Foreign Policy ② Anthropology, the Arts, and the Humanities ③ Communications ④ Public Policy ⑤ American Politics ⑥ Law and Criminal Justice ⑦ Homeland or National Security ⑧ Leadership ⑨ Business and Economics ⑩ Nonprofit Organizations 以上の10分野から専攻可能。授業は主に平日夜で、授業時間は約3時間。
Business and Information Technology Program	インターンシップを通じてビジネスと政治、行政の関係を学ぶ	Merrill Lynch US Chamber of Commerce Smith Barney	
International Affairs Program	人権保護、難民問題、女性の権利、紛争解決など国際的な人道問題に取り組む団体でのインターンシップ	United Nations Association Amnesty International National Defense University	
Law and Criminal Justice Program	法という視点から人権擁護に向き合う団体でのインターンシップ	Interpol US Department of Justice US Attorney's Office	
Mass Communication Program	新聞などの印刷メディア、テレビ、広告、写真などマスメディアが社会に与える影響についてインターンシップを通じて学ぶ	CNN USA Today National Press Club	
NAFTA- American Leader Program	北米と中南米の関係について様々な視点から考えるプログラム	Embassy of Mexico US-Hispanic Chamber of Commerce	
Political Leadership Program	議会、政党、関連する政治グループでのインターンシップを通じてアメリカ政治を経験するプログラム	White House (Public Affairs) National Republican Congressional Committee	
Science and Policy Program	科学技術分野の政府組織またはインターセクトでのインターンシップ	World Wildlife Fund Food and Water Watch Department of Commerce	

“海外で一人でやっていける。
むしろ、やってみたいと思えるようになった。”

“4月1日に留学を決意。
決めたら即行動あるのみです。”



慶應義塾大学 経済学部3年 山口 智之 君
University of Auckland 英語力強化プログラム参加
2008年9月～2009年6月(約10カ月間)

Q: 留学しようと思ったきっかけは何ですか？

A: 留学しようと思った直接のきっかけは、慶応外国語学校に通っている母から、同じ教室に通っているクラスメートが留学するという話を聞いて「自分もできるのでは？」と思ったからです。しかし、高校時代にもクラスメートが留学しているにも関わらず、その時は「海外なんて勘弁」という気持ちしかありませんでした。

心变りのきっかけは、2006年のドイツ旅行だと考えています。初めていくまったく言葉の通じない国に行ったにも関わらず、親との旅行でしたが二週間弱の旅行の大半をほぼ一人で行動し、「海外でも(も)とからそこそこ治安の良い国なら)一人でも大丈夫なんだ」と自信をつけました。だからこそ、寮暮らしなら海外で一人でもやっていける、むしろやってみたいと思えるようになったのだと思います。

もう一つ、高校時代の恩師にして高校野球部の監督として甲子園で戦った上田先生の英語の授業「English through Cinema」のプレゼンにて「正しい文法でしゃべろうと思ったら絶対しゃべれない。身振り手振り、間違ってもいいからともかくしゃべって伝えることが重要だ」という言葉も、大きな励みになりました。

Q: 留学先でチャレンジしたいことは何ですか？

A: 英語のスキルを上昇させる事は当然として、まずは周辺の学生と円滑なコミュニケーションをとり、日本の中では得られないようなものの方というものを身につけたいと思っています。また、ニュージーランドは自然の多い島国なので、持っているスキューバダイビングのCカードをせっかくなら有効活用してダイビングを久々にやりたいと思っています。ほかにも、ロードオブザリングの撮影場所など雄大な自然をじっくり堪能したいと考えています。

Q: 留学経験を帰国後どのように活かしたいと考えていますか？

A: まずは就職活動、とくに商社に勤める際に有利な様に各種試験を受けたいと考えています。趣味の範囲では、英語が通じるとされるヨーロッパの国々を旅する際に、2006年のようなしどろもどろでなく、自信を持って行動できるようになれば良いな、と夢見ています。

Q: 留学準備はいつ頃どのように始めましたか？

A: 2008年4月1日に留学を決意し、直後4月末に行われた説明会に参加しました。その時点でほぼ目標が決まっていたので決めたら即行動あるのみ、という感じでした。

Q: SAFを知ったきっかけと担当カウンセラーの印象は？

A: 留学について4月まで考えていなかったのですが、大学でのセミナーを通じて初めてSAFを知りました。カウンセラーの方は、僕が銀行で証明書を発行してもらおう際に、信じられないポカミスをした時にも、親切、丁寧かつ迅速に対応してくださり、とても助けられました。本当に感謝しています。

Q: 最後に、留学に向けた意気込みを教えてください！

A: 僕は、語学力の向上が目的だったために、英語力強化コースのみに目的を絞っていましたが、授業履修プログラムに参加する時のように入学条件に必要なTOEFLスコアを取得するために勉強して大学合格を果たしたわけではないので、それ自体が喜びという訳ではなく、「むしろこれからが本番だな」、という気持ちが強かったです。気合をいれて行ってまいります。



University of Auckland の英語力強化プログラム

英語力強化プログラムの校舎があるオークランド大学のメインキャンパス(City Campus)は、オークランドのビジネス街から徒歩5分の便利な場所にあります。緑豊かなキャンパスで、100カ国からの留学生と共にダイナミックが留学生活を送ることができます！

コース名	時間	レベル	選択科目
一般英語	23h/週	5レベル	上から3クラスはPMの授業が選択制。 Topics The Environment Business English IELTS, TOEFL, TOEIC
アカデミック英語	23h/週 10週間 単位での受講	4レベル	上から2クラスはPMの授業が選択制 Academic English skills, Business English, IELTS Preparation, TOEFL Preparation, English for Management